

【エクアドル内政・外交:2015年3月】

1. 内政

(1) 閣僚交替

コレア大統領は、13日付大統領令第579号及び18日付大統領令第585号、23日付大統領第638号により、新たにスポーツ大臣、鉱業大臣、貿易大臣、都市開発・住宅大臣、生産・雇用・競争性調整大臣を任命した。

ア. 辞任した閣僚

セシリア・バカ・スポーツ大臣(代行)

フランシスコ・リバデネイラ貿易大臣

ディエゴ・アウレスティア・バレンシア都市開発・住宅大臣

リチャード・エスピノサ・グスマン生産・雇用・競争性調整大臣

イ. 新閣僚

カタリーナ・オンタネダ・ビバル・スポーツ大臣

ハビエル・コルドバ・ウンダ鉱業大臣

ディエゴ・アウレスティア・バレンシア貿易大臣(前都市開発・住宅大臣)

マリア・デ・ロス・アンヘレス・ドゥアルテ都市開発・住宅大臣(前運輸・公共事業大臣, 元経済社会参画大臣, 元都市開発・住宅大臣)

サスキア・ナタリー・セリー・スアレス生産・雇用・競争性調整大臣(前駐米大使)

(2) 野党会合

19日、キトを中心に政府の政策に反対する先住民および労働組合による抗議デモが発生した。同抗議デモは、学生、若者、女性団体、退職者、LGBT、政党の代表など、各団体の立場からそれぞれの要求を行うデモと変容したが、キトにおける逮捕者やけが人はなかった。

(3) レニン・モレノ前副大統領の政治発言

ア 現在、障害者国連事務総長特使を務め、ジュネーブの事務所に勤務するレニン・モレノ前副大統領が今月私的用事でエクアドルに一時帰国し、メディアインタビューに対し、現在、与党・国家同盟が進めている三選再選禁止規定の撤廃および、コミュニケーション法に基づき、一コマ政治漫画家のポニル氏に罰則が命じられたことに反対の立場である旨表明した。

イ これに対し、与党・国家同盟はモレノ前副大統領の発言は個人的見解であり、人種差別を撲滅するためのコレア大統領の闘う姿勢と相容れないとのコメントを発出した。モレノ前副大統領はこれに対し、自信の発言が間違っていると訂正を依頼した。

2. 外交

(1) 米州防衛評議会(JID)からのエクアドルの脱退

ア 3月6日付当地外務省プレスリリースは、OASエクアドル代表部は、当地外務省に対してコミュニケーションを通じて、エクアドルが、米州共同防衛条約(TIAR)から既に脱退し、本年2月20日付で米州防衛評議会(JID)の一員でなくなったことを正式に伝えた。また、エクアドルはUNASURの南米防衛評議会(CSD)を通じて、地域の関心を反映した新たな安全保障の枠組みを発展させる意思があることを伝えた。

イ 本件については、ボリビアのコチャバンバで開催されたOAS総会において初めてエクアドルの米州共同防衛条約(TIAR)からの脱退が伝えられ、2014年2月4日に大統領令217号への署名によって正式に脱退が発表された。米州防衛評議会の脱退により、全ての米州機構の安全保障の枠組みからエクアドルが脱退したことを意味する。

ウ パティーニョ外相は、アラヤ米州防衛評議会会長宛に書簡を送付し、「エクアドルは、他の地域機関の枠組みで、地域の共通の必要性にあった、全ての加盟国が平等に参加する新たな防衛の枠組みを発展させていくことを決定した」と伝えた。